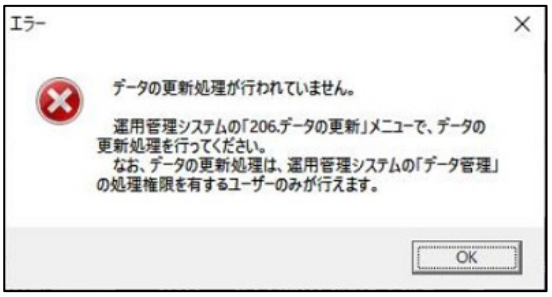
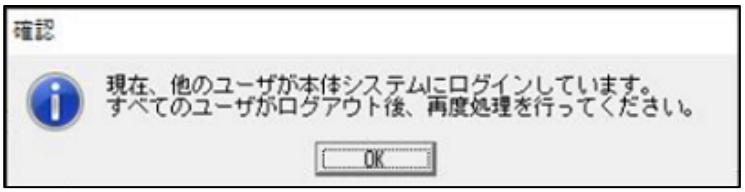
作成日：令和 4 年 10 月 28 日
作成者：ＴＫＣヘルプデスク

【「現在、他のユーザが本体システムにログインしています。～」と表示される場合の対処方法】

1．新しい版数の提供後に年度版システムを起動しようとした際に、データの更新が行われていないため、以下のエラーメッセージが表示されます。



2．メッセージに従って運用管理システムのメニュー206 でデータの更新を行おうとすると、以下のメッセージが表示されてデータの更新が行えない場合があります。



3．この場合は、データの更新を行おうとしている対象年度の年度版システムに、ログイン中のユーザーがいることが原因となり、データの更新を行えない状況です。

4．そのため、ログイン中のユーザーを確認しようとして、対象年度の年度版システムにログインしようとするのですが、上記１のメッセージが表示されて、ログイン中のユーザーを確認できないため堂々巡りになります。

5．大変お手数ですが、このような状況になった場合は、ご利用のＰＣに登録されているシステムを削除し、最新版へ更新前にご利用いただいていた版数のシステムを一度インストールし直します。

そのうえで、ログイン中のユーザー情報をクリアし、データの更新の対象年度のシステムに誰もログインしていない状況にしたうえで、再度、年度版システムを最新版に更新後、データの更新を行ってください。

具体的には以下のご対応方法となります。

【ご対応方法】

運用管理システムをご利用いただける方(＝通常は親法人の担当者)のＰＣで、年度版システムが最新版に更新されていないＰＣ(※１)がある場合は、以下のⅠの対処方法(P3～P7)を行ってください。

※１　最新版の提供後に、Ｗｅｂメニューからデータの更新を行う対象年度の年度版システムを、１度も起動していない場合(※２)です。

※２　利用中のシステム版数を確認しようとしてＷｅｂメニューからシステムを起動すると、最新年度に更新されてしまうのでご注意ください。

また、運用管理システムをご利用いただける方(＝通常は親法人の担当者)のＰＣで、年度版システムが既に最新版に更新されてしまったＰＣしかない場合は、以下のⅡの対処方法(P8～P16)を行ってください。

Ⅰ　運用管理システムをご利用いただける方(＝通常は親法人の担当者)のＰＣで、年度版システムが最新版に更新されていないＰＣがある場合

データの更新の対象年度のシステムが最新版に更新されていないＰＣで、以下の作業を行ってください。

1．ショートカットからのシステム起動

以下の方法でデータの更新を行う対象年度の年度版システムを、ショートカット(※)から起動します。

※Ｗｅｂメニューから年度版システムを起動すると最新版に更新されてしまうため、ショートカットを作成して起動する必要があります。

※ＩＳＯイメージファイル(DVD)でシステムをインストールし、ショートカットからシステムを起動している場合は、当該１の処理は不要なため、以下の２へ進んでください。

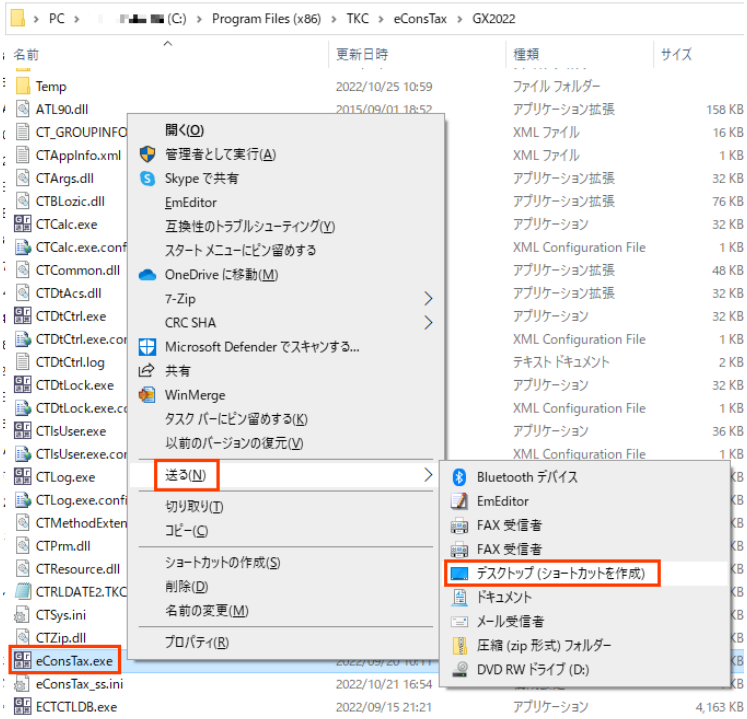
(1) e-TAX グループ通算の場合

① 以下の exe を右クリックし、[送る]>[デスクトップ(ショートカットを作成)]をクリックします。

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe

※「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

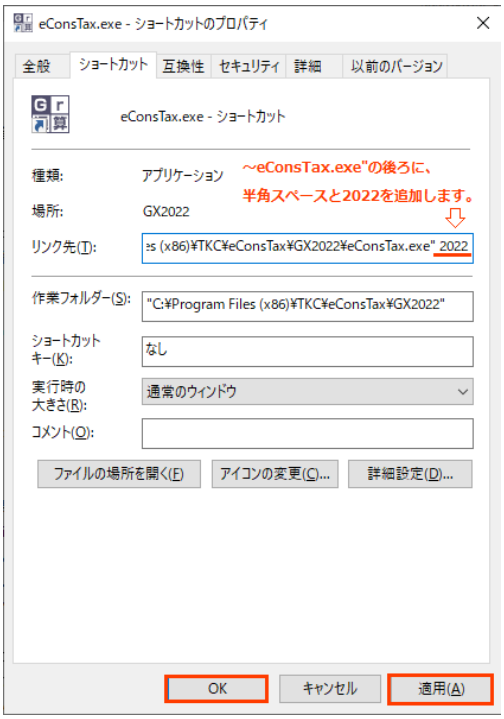
例えば、令和４年度の場合は、「GX2022」となります。



② デスクトップに作成された「eConsTax.exe-ショートカット」のファイルを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

③ [ショートカット]タブの[リンク先]欄で、設定済みの以下の文字列の後ろに、半角スペースと対象年度の西暦の 4 桁の数字を追加します。
(以下は例として令和 4 年度(2022)です。)
※以下赤字の箇所です。(半角スペースは□で表現しています。)
"C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GX2022¥eConsTax.exe"□2022

④ [適用]ボタンをクリックし、[ＯＫ]ボタンをクリックして[プロパティ]画面を閉じます。



⑤ 当該ショートカットファイルをクリックし、対象年度の年度版システムを起動します。

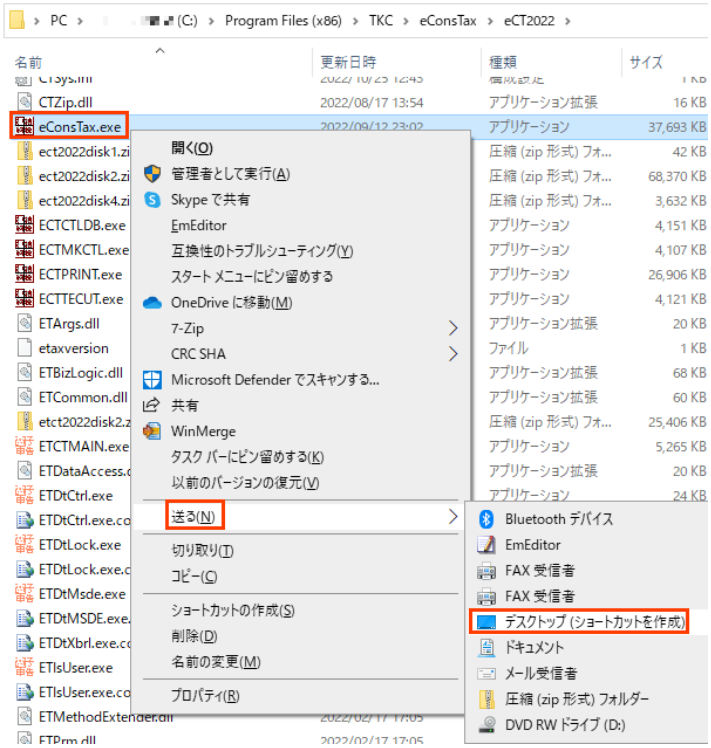
(2) eConsoliTax の場合

手順は上記(1)と同様ですが、①の exe が eConsoliTax の場合は以下のパスになることのみ異なります。

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe

※「YYYY」の箇所は、対象のシステム年度の西暦です。

例えば、令和 4 年度の場合は、「eCT2022」となります。

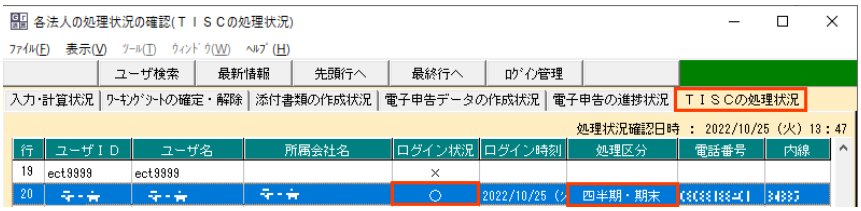


2．ログイン中のユーザーＩＤの確認とログアウト処理

対象年度の年度版システムにログインし、以下のタブで当該年度のシステムのいずれかのデータにログイン中のユーザーＩＤを確認します。

(1) [各法人の処理状況の確認]ボタン>[TISC の処理状況]のタブで、[ログイン状況]列が「○」になっているユーザーＩＤを確認します。

※[処理区分]列が、当該ユーザーＩＤが当該年度でログイン中の処理区分です。
四半期試算・期末試算や修正申告は複数のデータが存在する可能性がありますが、データ名までは表示されません。



(2) 以下のオンラインＱ＆Ａをご参照いただき、ログイン中のユーザーＩＤで、システムからログアウト(※)を行っていただきます。

※通信エラーやＰＣの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在ログインされていないが、ログイン中の情報が残ってしまい、[ログイン状況]列で「○」が

付いている場合があります。

その場合は、当該ユーザーＩＤで対象のデータにログイン(※)し、ログイン情報の解除を行うか、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザー情報を全てクリアしてください。

※ログイン情報の解除処理は、以下の通り行います。

① 実際にログイン中のユーザーがいる場合

当該ユーザーにシステムからログアウトしてもらいます。

② 実際にログイン中のユーザーはおらず、ログイン情報だけ残ってしまっている場合

当該ユーザーＩＤを使用している担当者からパスワードと前回処理していた処理区分（データ名）を確認いただき、当該ユーザＩＤで対象のデータにログインしてログイン情報をクリアします。

もしくは、強制ログアウト機能で、ログイン情報をクリアします。

【ご参考】(二重ログイン)「指定されたユーザＩＤで、既にログインしているユーザがいます。」の対処方法(0101498)

【ご参考】強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点(0101423)

(3) 必要に応じてログイン一時停止(※)の処理を行います。

※ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザーが、対象のデータにログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザーが処理対象のデータ(＝通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、データの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】ログイン一時停止の処理方法と使用目的(0101464)

３．最新版へのシステム更新

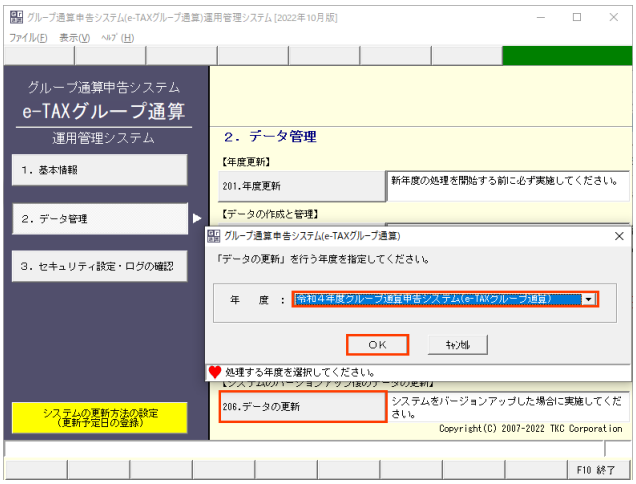
Ｗｅｂメニューでデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新します。

※ＩＳＯイメージファイル(DVD)をご利用の場合は、ＩＳＯイメージファイル(DVD)からシステムを最新版に更新します。

【ご参考】ＩＳＯイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

４．データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー206 で対象年度を指定し、データの更新を行ってください。


グループ通算申告システム(e-TAXグループ通算)運用管理システム [2022年10月版]
ファイル(F)　表示(V)　ヘルプ(H)
グループ通算申告システム
e-TAXグループ通算
運用管理システム
1．基本情報
2．データ管理
3．セキュリティ設定・ログの確認
システムの更新方法の設定
（更新予定日の登録）
2．データ管理
【年度更新】
201.年度更新
新年度の処理を開始する前に必ず実施してください。
【データの作成と管理】
グループ通算申告システム(e-TAXグループ通算)
「データの更新」を行う年度を指定してください。
年　度　：
令和4年度グループ通算申告システム(e-TAXグループ通算)
OK
ｷｬﾝｾﾙ
処理する年度を選択してください。
206.データの更新
システムをバージョンアップした場合に実施してください。
Copyright(C) 2007-2022 TKC Corporation
F10 終了

以上

Ⅱ　運用管理システムをご利用いただける方(＝通常は親法人の担当者)のＰＣで、年度版システムが既に最新版に更新されてしまったＰＣしかない場合

年度版システムが最新版に更新されてしまったＰＣで、以下の作業を行ってください。

１．ログイン中のユーザーＩＤの確認

データの更新を行う対象年度の年度版システムに、どのユーザーＩＤがログイン中か確認します。

(1) 運用管理システムのメニュー206 でデータの更新を行い、以下のメッセージを表示させます。

(2) 以下の xml ファイル(※１)を確認し、どのユーザＩＤ(※２)のログイン情報が残っているか確認します。

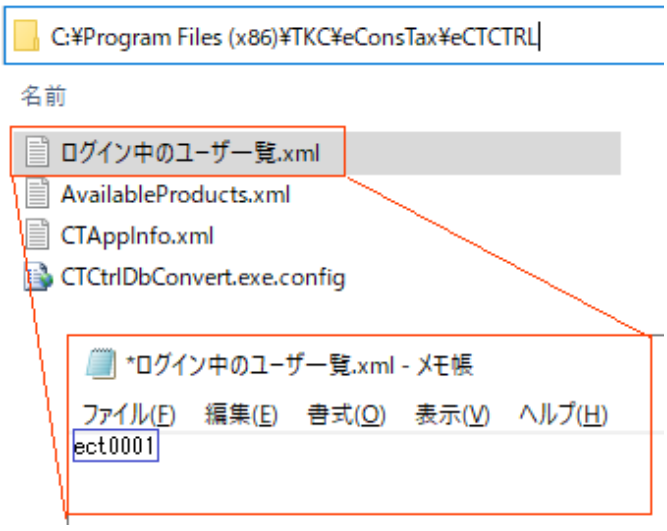
当該 xml をメモ帳などのテキストエディタで開き、表示されるユーザーＩＤをメモしておいてください。

・ファイル名：ログイン中のユーザー一覧.xml

・格納場所：C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL

※１　メニュー206 でデータの更新を行い、上記(1)のメッセージが発生したタイミングで当該 xml ファイルが作成されます。

※２　当該 xml ファイルには、メニュー206 でデータの更新を行おうとした対象年度の年度版システムで、いずれかのデータに現在ログイン中のユーザーＩＤが記録されます。



２．対象年度のシステムＤＢの削除

以下のオンラインＱ＆Ａの「Ⅰ　対象年度のシステムＤＢを削除する方法」ご参照いただき、データの更新の対象年度のシステムデータベース(ＤＢ)を削除してください。

※当該オンラインＱ＆Ａの【回答】欄の最初に、対象年度のプロダクトキーをメモする手順があるのでメモして置いてください。後程プロダクトキーの登録が必要になります。

【ご参考】システムＤＢの削除方法(0101621)

３．システムフォルダの削除

「C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax」の直下にある以下のフォルダを削除してください。

①　e-TAX グループ通算の場合　※以下イメージの青枠の 4 つのフォルダ

1)eCTCTRL

2)ectctrlverchk

3)GXYYYY　　※(例)令和 4 年度版の場合は「GX2022」

4)gxYYYYverchk　※(例)令和 4 年度版の場合は「gx2022verchk」

※「YYYY」は、データの更新の対象年度です。(例)令和 4 年度版：2022

②　eConsoliTax の場合　※以下イメージの赤枠の 5 つのフォルダ

1)eCTCTRL

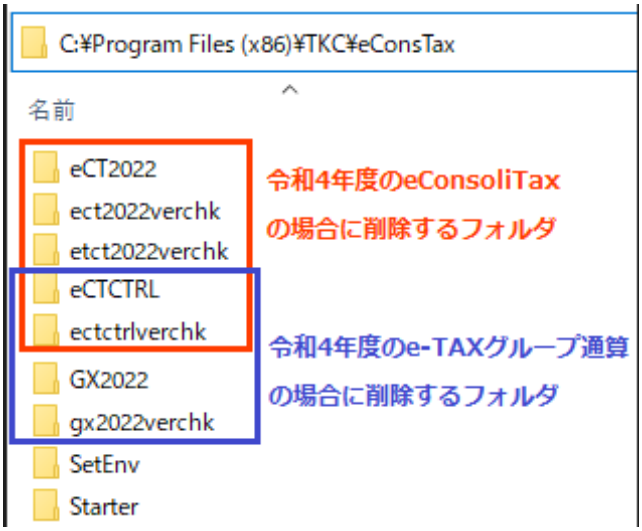
2)ectctrlverchk

3)eCTYYYY　　※(例)令和 4 年度版の場合は「eCT2022」

4)ectYYYYverchk　※(例)令和 4 年度版の場合は「ect2022verchk」

5)etctYYYYverchk ※(例)令和 4 年度版の場合は「etct2022verchk」

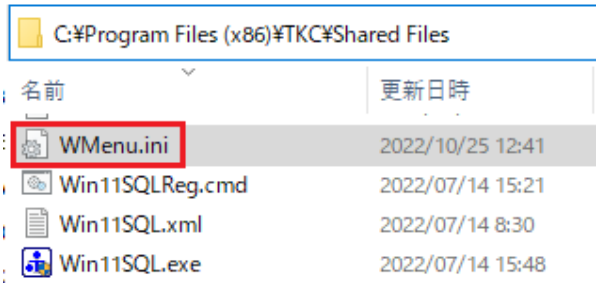
※「YYYY」は、データの更新の対象年度です。(例)令和 4 年度版：2022



４．WMenu.ini の記述の削除　※上記３で削除したシステム年度の情報の削除です。

(1) 以下の ini ファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。

C:¥Program Files (x86)¥TKC¥Shared Files¥WMneu.ini



(2) 以下の記述が残っている場合は削除し、当該ファイルを上書き保存します。

①　e-TAX グループ通算の場合　※以下の 1)と 2)の２つの記述を削除します。

1)運用管理に関する記述

「[eCTCTRL]～IconIndex=0」の 9 行を削除します。

[eCTCTRL]

Title=連結納税システム　運用管理システム

ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥

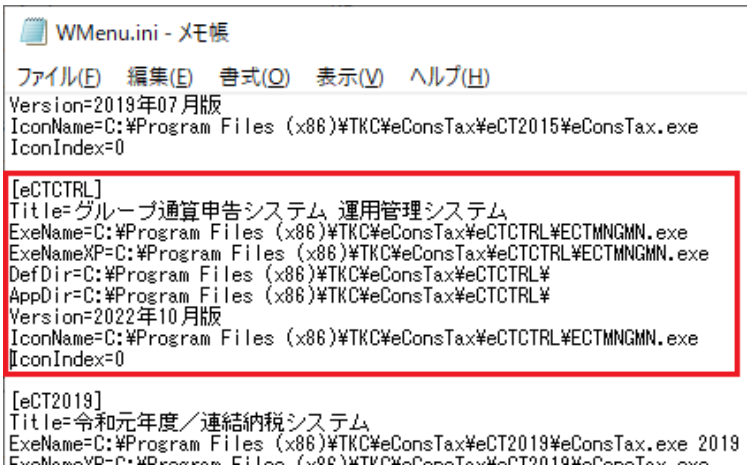
AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

IconIndex=0

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など



2)年度版に関する記述

「[GXYYYY]～IconIndex=0」の 10 行を削除します。

[GXYYYY]

Title=令和 Y 年度／グループ通算申告システム

ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe YYYY

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe

ParamXP=YYYY

DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY

AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY

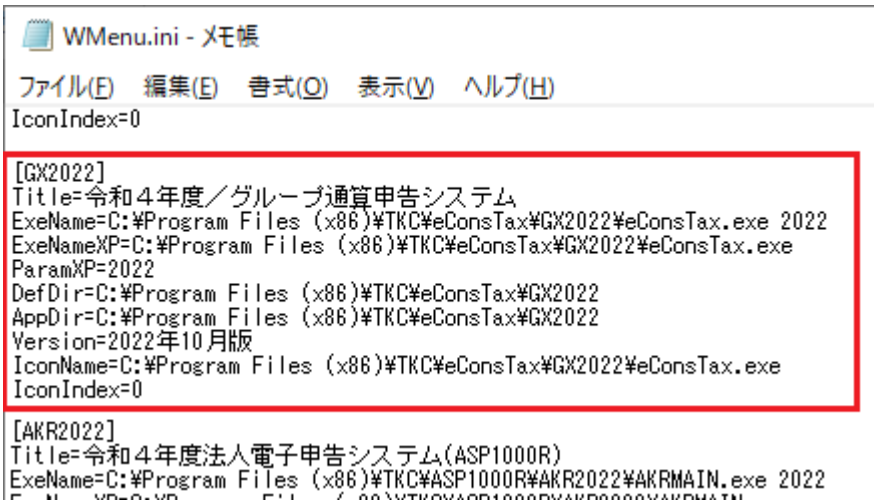
Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥GXYYYY¥eConsTax.exe

IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステムの西暦です。(例)令和 4 年度版の場合は「2022」です。

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など



② eConsoliTax の場合　※以下の 1)～3)の 3 つの記述を削除します。

1)運用管理に関する記述

「[eCTCTRL]～IconIndex=0」の 9 行を削除します。

[eCTCTRL]

Title=連結納税システム 運用管理システム

ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥

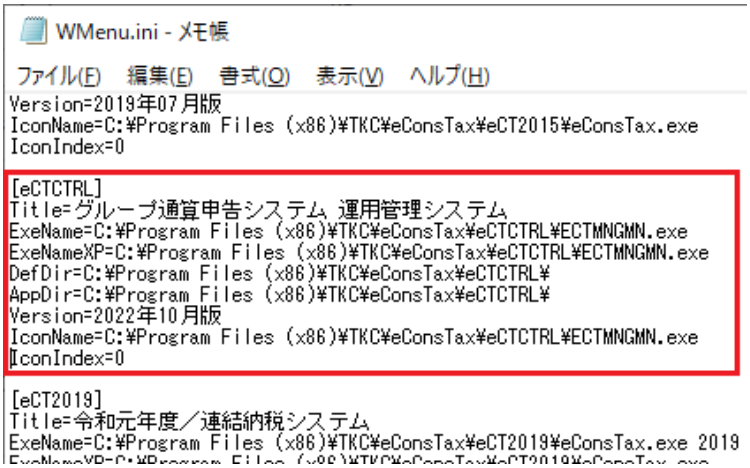
AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTCTRL¥ECTMNGMN.exe

IconIndex=0

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など



2)年度版に関する記述　※a.が eConsoliTax の記述、b.が e-TAX 連結納税の記述です。

a.「[eCTYYYY]～IconIndex=0」の 10 行を削除します。

[eCTYYYY]

Title=令和 Y 年度／連結納税システム

ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe YYYY

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe

ParamXP=YYYY

DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY

AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥eConsTax.exe

IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和 4 年度版の場合は「2022」です。

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

b.「[ETCTYYYY]～IconIndex=0」の 10 行を削除します。

[ETCTYYYY]

Title=令和 Y 年度ＴＫＣ電子申告システム(e-TAX 連結納税)

ExeName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe YYYY

ExeNameXP=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe

ParamXP=YYYY

DefDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY

AppDir=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY

Version=YYYY 年 MM 月版

IconName=C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥eCTYYYY¥ETCTMAIN.exe

IconIndex=0

※「YYYY」は対象年度のシステム西暦です。(例)令和 4 年度版の場合は「2022」です。

※Version の「YYYY 年 MM 月」はインストール版数です。(例)2022 年 10 月版など

５．ＩＳＯイメージファイル(ＤＶＤ)から最新版に更新前に使用していた版数のシステムのインストール

以下のオンラインＱ＆Ａをご参照いただき、**最新版に更新前に使用していた版数のシステムを、ＩＳＯイメージファイル(ＤＶＤ)からインストール**してください。

なお、プロダクトキー等の登録時に、上記２でメモしていただいたプロダクトキーの入力が必要になるためご留意ください。

【ご参考】ＩＳＯイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

６．上記１で確認したログイン中のユーザーＩＤのログアウト処理

(1) 上記４でインストールした**最新版に更新前に使用していた版数のシステムを Windows のショートカット(※)から起動**します。

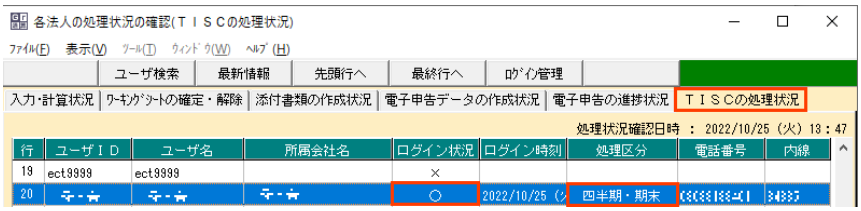
※Windows のスタートボタン＞ＴＫＣシステム＞令和Ｘ年度／グループ通算申告システム
(eConsoliTax の場合は、「令和Ｘ年度／連結納税システム」となります。

(2) 念のため、上記１で確認したログイン中のユーザーＩＤが、以下の画面でもログイン中となっていることを確認します。

① [各法人の処理状況の確認]ボタン＞[TISC の処理状況]のタブで、[ログイン状況]列が「○」になっているユーザーＩＤを確認します。

※[処理区分]列が、当該ユーザーＩＤが当該年度でログイン中の処理区分です。
四半期試算・期末試算や修正申告は複数のデータが存在する可能性がありますが、

データ名までは表示されません。



(3) 以下のオンラインＱ＆Ａをご参照いただき、ログイン中のユーザーＩＤに、システムからログアウト(※)を行っていただきます。

※通信エラーやＰＣの強制断などでシステムを強制終了した場合は、実際には現在ログインされていないが、ログイン中の情報が残ってしまい、[ログイン状況]列で「○」が付いている場合があります。

その場合は、当該ユーザーＩＤで対象のデータにログイン(※)し、ログイン情報の解除を行うか、強制ログアウトの機能を使用し、ログイン中のユーザー情報を全てクリアしてください。

※ログイン情報の解除処理は、以下の通り行います。

① 実際にログイン中のユーザーがいる場合

当該ユーザーにシステムからログアウトしてもらいます。

② 実際にログイン中のユーザーはおらず、ログイン情報だけ残ってしまっている場合

当該ユーザーＩＤを使用している担当者からパスワードと前回処理していた処理区分（データ名）を確認いただき、当該ユーザＩＤで対象のデータにログインしてログイン情報をクリアします。

もしくは、強制ログアウト機能で、ログイン情報をクリアします。

【ご参考】(二重ログイン)「指定されたユーザＩＤで、既にログインしているユーザがいます。」の対処方法 (0101498)

【ご参考】強制ログアウトの処理方法、使用目的及び注意点 (0101423)

(4) 必要に応じてログイン一時停止(※)の処理を行います。

※ログイン一時停止の処理は、一時的に親法人の担当者以外のユーザーが、対象のデータにログインできないようにする処理です。データの更新を行う場合は、他のユーザーが処理対象のデータ(＝通常は最後に作成したデータ)に対してログイン一時停止を行うことで、データの更新が行えなくなることを防ぐことができます。

【ご参考】ログイン一時停止の処理方法と使用目的 (0101464)

7．最新版へのシステム更新

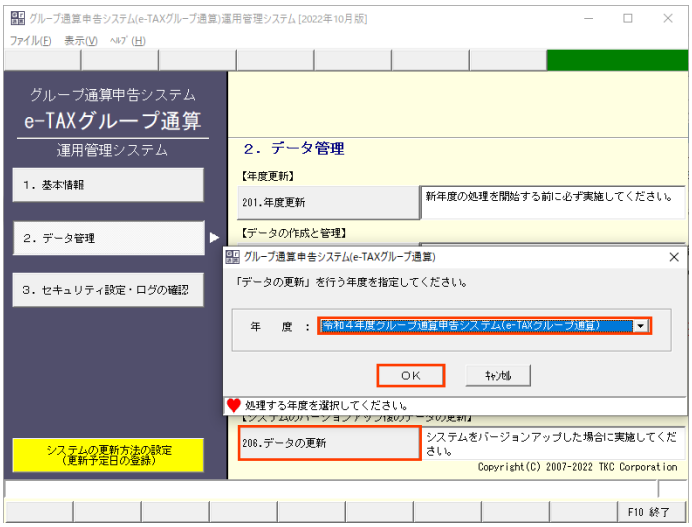
Ｗｅｂメニューでデータの更新対象の年度版システムを起動し、システムを最新版に更新します。

※ＩＳＯイメージファイル(DVD)をご利用の場合は、ＩＳＯイメージファイル(DVD)からシステムを最新版に更新します。

【ご参考】ＩＳＯイメージファイルを使用したシステムのインストール方法(0101287)

8．データの更新

運用管理システムにログインし、メニュー206 で対象年度を指定し、データの更新を行ってください。



以上